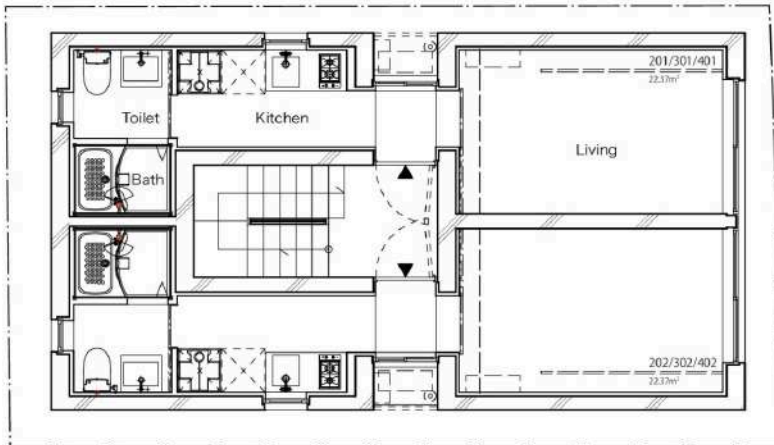
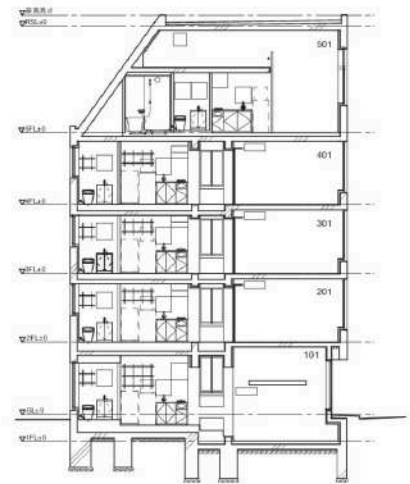


Nezu A Flat





平面図（2F~4F） 1/100



断面図 1/250

都心に建つ9戸、5階建てワンルーム集合住宅。敷地は、間口が狭く、奥行きがある。法的に必要な開口部を確保しつつ間口を2等分し、全住戸が前面南側道路に面するように配置した。

最大限確保した南開口からは太陽光はもちろん、隣地大学の大きな樹木が見え、視線の抜けが広さを感じさせる。断熱・気密性を高め、南北風道が三面開口によって確保され、都心賃貸住宅であっても快適な住環境を極力提供できるように性能面を充実させた。

1階は敷地奥側の階段室に導くための共用通路があり、間口が3等分され

てしまう。そこで1階居室は半地下にして天井高を確保し、ロフトを設置した。水回り部は地上階のままとして排水を自然放流できるようにし、停電や冠水などの各種災害時にも備えた。2～4階の階高は2.55mの最小限とし、1・5階は法定最大限までの気積を確保した。5階は2～4階より0.5㎡広いだけであるが、東や南に抜ける眺望、3.7mある天井高、専用テラスでより広さを感じるようにしている。

平面・断面的にミリ単位の攻防を行い、ディテールを削ぎ落とすことで実現したミニマム空間の中に周辺環境を極力取り込める空間をめざした。